

神中しーぶん

平成26年
12月3日
神原中
不定期39号

世界エイズデー!!

～エイズのまん延防止と差別・偏見の解消を～

時間有効活用!!

全ての人に平等に与えられているものがあるとしたら、それは時間です。この時間をどのように使っていくかで、その人の生き方が変わります。同じ旅行中1時間でも、その価値が異なる場合があります。友達と過ごす時間、大切な人に向き合う時間、自分自身と向き合う時間、これらは3ヶ月、半年、1年、3年、5年、10年、20年、30年、40年、50年、60年、70年、80年、90年、100年と、人生の長い時間をどのように過ごすかが、人生の価値を決めます。友達と過ごす時間、大切な人に向き合う時間、自分自身と向き合う時間、これらは3ヶ月、半年、1年、3年、5年、10年、20年、30年、40年、50年、60年、70年、80年、90年、100年と、人生の長い時間をどのように過ごすかが、人生の価値を決めます。

去る十二月一日は、世界エイズデーでした。これは、世界レベルでのエイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、WHO（世界保健機関）が一九八八年に制定したもので、毎年十二月一日を中心に、世界各国でエイズに関する啓発活動が行われています。

「レッドリボン（赤いリボン）」は、もともとヨーロッパに古くから伝承される風習のひとつで、病気や事故で人生を全うできなかった人々への追悼の気持ちを表すものでした。

この「レッドリボン」がエイズのために使われ始めたのは、アメリカでエイズが社会的な問題となってきた一九八〇年代の終わりごろでした。このころ、演劇や音楽などで活動するニューヨークのアーティスト達にもエイズがひろがり、エイズに倒れて死亡するアーティスト達が増え、エイズに苦しむ人々への理解と支援の意思を示すため、「赤いリボン」のシンボルにした運動が始まりました。

この運動は、その考えに共感した人々によって国境を越えた世界的な運動として発展し、UNAIDS（国連合同エイズ計画）のシンボルマークにも採用されています。



おめでとう!!

- ☆第13回「おきなわの観光」
絵画コンクール
(参加賞) 石井修人③
新里潤一③, 伊舎堂星③
真栄田由乃③, 宮城李苑②
仲本千花②, 兼久芙美華②
田端龍翔②, 山城金太郎②
米元日向子②, 照屋真尋②

清掃強化週間!!

12月8日(月)～12日(金)の5日間、校内清掃強化週間が実施されます。校内での活動場所への感謝の気持ちを持って、一年間の汚れを落とすための清掃強化週間です。清掃強化週間中は、清掃活動の時間を活用して、清掃活動のポイントを絞って取り組むことで、清掃活動の効果がさらに高まります。清掃活動の強化は、学校の環境をきれいにするだけでなく、生徒の協力体制が重要です。清掃活動の強化は、学校の環境をきれいにするだけでなく、生徒の協力体制が重要です。



立会演説会

並びに投票!

去る十二月二日(火)の午後、平成二七年度の生徒会長・副会長を決めるための立会演説会並びに投票を行いました。男子一名、女子七名が立候補し、推薦代表者も含め、各候補者とも熱の入ったスピーチを行っていました。各立候補者のスピーチの内容で多かったのは、「あいさつ運動」を活発にしたい

県到達度調査!

十二月四日(木)・五日(金)の両日、平成二六年度の沖縄県学力到達度調査が県内全公立中学校二年生・一年生対象に行われます。中学二年生が国・社・数・理・英の五教科、一年生が数学のみの実施です。次年度からは、実施時期も二月に変更になる予定です。全国学力・学習状況調査を意識しての取り組みの一つとして、沖縄県教育委員会も力を入れて調査です。調査後は、各学校において採点作業・学力向上webシステムを活用しての入力作業に移ります。頑張れ!神原中。

レッドリボンは、あなたがエイズに関し、偏見をもっていない、エイズとともに生きる人々を差別しないというメッセージです。このレッドリボンの意味を知り、レッドリボンを身につけることにより、エイズをみんなで考えましょう。

校内においても、レッドリボンやエイズ予防に関する特設授業、保健委員の生徒達が資料の掲示等を行っています。資料によると、県内においても年々増加傾向にあり、二四四名が確認されているとのこと。

正しい知識と対応策を考えるためにも各学級における特設授業に真剣に取り組ましましょう。

各立候補者の演説の後は、各学年ごとに設置された投票場所において、一組から順に投票を行いました。投票箱にも手作りの飾り付けがなされていて、選挙管理員の立ち会いのもと、名簿のチェックや投票がスムーズに行われ、投票後は開票事務へと移っていきました。